

日野市内の7福祉作業所が作成した 環境に配慮したエコバッグ 570 枚を 9 月 22 日に日野市役所ロビーで贈呈

～ 日野菜しんぶん紙エコバッグ贈呈式～

NPO 法人市民サポートセンター日野(日野市多摩平、代表:今村久美子)は、日野市内の7つの福祉作業所に製作を依頼した、新聞紙で作る野菜用のエコバッグ完成品 570 枚を、市内の地場野菜を扱う「セツ塚ファーマーズセンター」(日野市新町 5-20-1)に贈呈する。

9 月 22 日はファーマーズセンターが日野市役所ロビーで農産物を販売する日にあたり、地元野菜を買う市民が多く訪れる。この日は購入した野菜を新聞紙のエコバッグに入れて持ち帰れる。

福祉作業所で作られた新聞紙のバッグはどれも完成度が高く、2 キロの野菜が入り、再度の利用も可能。障害のある人たちも参加しているというチラシとともに渡し、だれもが参加できる SDGs の活動を知っていただく。

URL(日野菜しんぶん紙エコバッグプロジェクト)

http://peraichi.com/landing_pages/view/hinosaipaperbag



贈呈式詳細

9 月 22 日 12:00～12:15 くらいまで、日野市役所 1 階ロビー(東京都日野市神明1丁目12-1)でセツ塚ファーマーズセンターによる地場野菜の販売が行われる。都市農業が盛んな日野市では市内で収穫される新鮮な野菜や果物を市民に提供するため定期的に販売会が開かれている。この場を利用してエコバッグ 570 枚をファーマーズセンター代表の山本徹さんにお渡しする。

贈呈式にはエコバッグを製作した市内作業所の指導員らも参列の予定。贈呈された新聞紙エコバッグはその日のお客様に渡されるほか、ファーマーズセンター店内や、市内を巡回して飲食業店が作ったお弁当を販売するキッチンカーでも配布される予定。

日野菜しんぶん紙エコバッグは NPO 法人市民サポートセンター日野が昨年度秋から始めている SDGs の活動で、新聞紙と糊という身近な材料だけで耐久性のあるバッグを作り、買い物や野菜の保存に使おうというプロジェクト。

一般市民や小学生、高齢者施設等で作り方の講習会を開き、「2枚作って、1 枚は誰かのために寄付しよう」という形で集めている。今年 1 月には 400 枚を集め、ファーマーズセンターに寄贈した。

また、YouTubeでも動画配信し、市外、東京都外からも動画を見て作った人から次々と寄付のバッグが送られており、総数は 700 枚を超えている。



エコバッグ贈呈の様子 1 月

NPO法人市民サポートセンター日野では更に、この作業を障害のある人が利用する福祉作業所での有償活動として認定してもらい、作業所の利用者にも社会貢献の一端を担ってもらえないかと日野市障害福祉課、環境保全課に働きかけ、作業所にも打診したところ、市内の7つの作業所が参加に名乗りをあげた。

NPO 法人市民サポートセンター日野では3月に福祉作業所職員向けに作り方の講習会を開き、各作業所で指導員が利用者の特性に応じた制作方法を工夫して8月末迄に570枚を完成させた。材料の英字新聞は市内の図書館からの寄付、貼り合わせに必要な糊はセツ塚ファーマーズセンターとNPO 法人市民サポートセンターが費用を負担した。

作業所に依頼した背景

福祉作業所は障害のある人が軽作業などを行うことによって賃金を得て社会復帰、社会参加することが目的の施設であるが、コロナ不況のため昨年度から委託作業が激減。作業の無い状態が続いていた施設もあった。そのため、今回の作業には積極的に取り組んでもらっている。

一人で最初から全部仕上げるのが難しい利用者もいるため、1枚のバッグを作る過程を20工程に分け、20人の流れ作業で進めている作業所もあった。



(写真は「やまぼうし平山台」提供)

指導員によると「新聞紙は記事によって違った柄になるので、違う風合いのバッグができるのを皆で楽しんでます」と作業そのものが楽しいようで、まだまだ製作を続けたいという。

一つ一つ手作りされた日野菜しんぶん紙エコバッグは仕上げとして、プロジェクトの実施に携わっている、子育て中のママグループ「日野菜ママ」が手作りしたスタンプが押されている。

子育てママたちの子どもたちに緑のある、豊かな環境を残したいというメッセージもこめられている。

NPO 法人市民サポートセンター日野について

「市民が生き生きと暮らせるまち、ともに創り上げるまち」を目指す団体です

【団体概要】

団体名：NPO法人市民サポートセンター日野

所在地：日野市多摩平2-9 多摩平の森ふれあい館2階(ファミリー・サポート・センター)

代表者：今村 久美子

設立：2004年

URL：<https://angel-hino.com/>

事業内容：日野市ファミリー・サポート・センター、日野市一時保育0歳児ステーションおむすび、子育て応援団「ふれんどさん」などの子育て支援事業のほか、日野市の地場野菜「日野菜(ひのさい)」を子育て世代に広める「日野菜キッチンカフェ」を定期的に開催している(R2年度子どもが輝く東京・応援事業)。コロナ禍の令和2年度より「日野菜しんぶん紙エコバッグ」プロジェクトを始めている。Youtubeなどを通して全国から新聞紙のエコバッグが続々集まっている。



【本件に関するお問い合わせ先】

NPO 法人市民サポートセンター日野 日野菜しんぶん紙エコバッグプロジェクト係 土屋、齊藤

TEL:042-583-1528(代表)

e-mail: cschino150@yahoo.co.jp

日野市 健康福祉部 障害福祉課

日野市 環境共生部 環境保全課